

株式会社ファミリア の取り組みについて

株式会社ファミリア
代表取締役 島田昌幸

素早い初動による食糧供給と、「野営方式」による避難所外の方への物資供給、地域コミュニティ形成のきっかけづくり等を行った。



初期に最も必要なものは食べ物。
豚汁など炊き出しを行った。



支援物資が行き届かない地域では、支援物資を広げて、欲しいものを必要な分だけ持ち帰って頂くようにした。



俳優の伊勢谷友介さんは支援物資を集めてくれた。



ものまね芸人のコロツケさんたちは被災に笑顔を届けた。

▼岩沼の海岸近くにあったハウスで
花を栽培していた



▼津波でハウスは全て流された。



東北元気玉弁当プロジェクト

▼津波で被災したおばちゃんたちを元気にするために、母親の花屋を半分借り「お弁当屋さん」をOPENした。

●伊勢谷氏が代表を務める「リバースプロジェクト」で
OPEN資金を集る呼びかけを行った。



みんなの力で
東北元気玉弁当
プロジェクト

パン工房 オージェーロクマル

▼起業家支援事業として、パン職人養成講座に参加

▼地元石巻で60歳からの再出発！
パンで地元を活性化したいという思いで、
2012年5月28日にOPEN。



パン工房 オージェーロクマル



還暦 パン職人に転身

解雇職安通いの末に
大震災を生きる
これから

石巻市の内陸部にあるこの町にいまわたちの生活は震災前と大震災の前後とを比べると、驚くほど静かになった。震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。

震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。

震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。震災前は活気にあふれていたが、震災後は静かになった。



▲河北新報に掲載

雇用創出プロジェクト

環境

福祉

防災

震災によって家族や職を失った多くの被災者のために、私たちは1人でも多くの雇用を生み出し、働く喜び・生きていく意味を多くの人と共感していきたいと考えています。

新たな雇用創出のための社団法人を立上げる

社団法人 多賀城震災復興まちづくり会社



雇用
創出

+

景観
維持



現在障害者6名雇用
(11月から15名)

【震災復興ボランティア】

法政大学から240名の学生ボランティアを受け入れ。ハーブの苗植えを行った。他、新潟や沖縄からのボランティアも受け入れた。



社団法人 東北復興プロジェクト

パン工房「ル・タン・リッシュ」

雇用
創出

+

防災



フランス語で“豊かな時間”という意味の「ルタンリッシュ」は仙台市青葉区上杉に店舗を構えるパン屋。障害者と共に、パン・ラスクの製造を、販売を行なっている。

現在障害者5名雇用（11月から7名）



震災復興ボランティアの活動が新聞各紙に取り上げられました ② ～8月18日 法政大学（自主マスコミ講座）学生240名が参加～

宮城県多賀城市の国特別史跡・多賀城跡(107ヘクタール)の一部を農園に整備し、産業と雇用の創出を目指す社団法人「多賀城震災復興まちづくり会社」(多賀城市)が、このほど発足した。

地域の文化財を生かし、被災者や障害者の働く場所を確保する新たな取り組みだ。

まちづくり会社は経営コンサルタント「ファミリア」(仙台市青葉区)の高橋由志郎専務と、福祉サービス事業所「アップルファーム」(同市若林区)の渡部哲也社長＝多賀城市出身＝が出資して設立。代表理事に高橋専務が就いた。

多賀城市が市シルバー人材センターに委託していた多賀城跡10ヘクタール分の管理業務をまちづくり会社が請け負い、除草作業に当たる。一部は耕作し、ハギ、アカネなど古来の植物やハーブを育てて茶やパンに加工、アップルファームが運営するレストランなどで販売する。

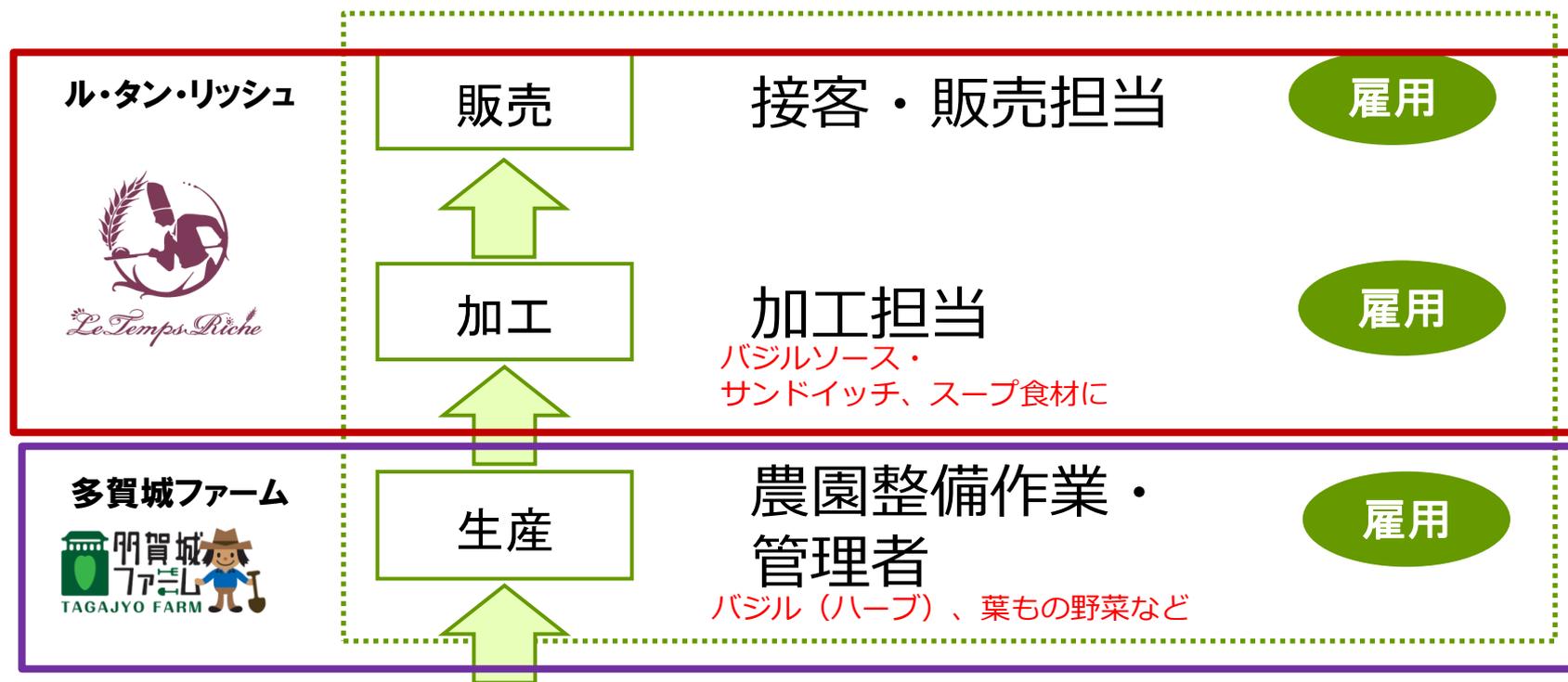
これまでに多賀城市内の障害者15人と契約した。本年度に50人、2年以内に100人の雇用を目指す。高橋代表理事は「震災から立ち上がるのに仕事は不可欠だ。多賀城らしい景観を生かし、6次産業化で多様なビジネスを創造したい」と意気込む。

18日には、法政大の学生約250人が多賀城跡を訪れ、ラベンダーなどの苗を植えた。



※河北新報（8月19日）より引用

教育体系プログラム（仮） ～震災復興ボランティアとしての関わり～



震災復興ボランティア・インターン（学生・企業研修）

生産の場づくりを行うことで、雇用維持・新たな雇用創出の重要な役割となっている。

<これまでの参加大学>

東北学院大学（80名）、法政大学（240名）、沖縄国際大学（4名）、琉球大学（7名）、沖縄大学（1名）、多摩大学（約10名）、新潟青陵大学（約10名）、仙台医療福祉専門学校（40名）他



3.11後の「SONY」資源を活かし、多賀城に新たな「障害者雇用創出」を目指します。

2nd FACTORY
TAGAJYO

セカンドファクトリー
多賀城

- ・ 新世紀に向け、障害者の雇用を生む産業の創造
- ・ 障害者自立支援事業をリードする新たな産業モデル化

▼企業の事務所として利活用（ソーホースタイル）



▼製造所として活用



▼野菜工場として活用



▼レストランとして活用



▼災害備蓄・冷蔵庫で活用



▼野菜工場で雇用



▼包装作業で雇用



▼加工製造員で雇用



▼支援員の養成



▼レストランで雇用



▼接客員で雇用



▼販売員で雇用



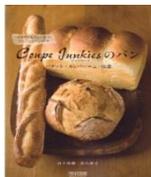
障害者雇用拡大を目的に
1.5次～2次加工・製造を戦略的に行う
“食のファクトリー”の設置

地域企業との連携による技術開発

▼ソース製造



▼パン製造



▼パン加工品製造



▼ドライ加工



▼パウダー加工



▼練り加工



▼包装・製品化



▼スイーツ製造



▼ピザ、ガレット製造



▼惣菜、パスタ製造





ロクファーム商品はここから生まれる ファーム（ハーブ畑）とファクトリーを訪ねて

待望のロクファームブランド商品が、とうとう「F・NALE みんなのアート展」でデビューを果たした。ほくほく甘い蜜枣のジェラート、香り高いハーブオイル、海苔の旨みがぎゅっと詰まったベスカートレソースなど、その美味しさがいち早く体験された方もいることだろう。数々の魅力ある商品を生み出す源である多賀城ファームと多賀城ファクトリーを、ロクファームの開発団体TOHOKU ROKU PROJECT代表の島田昌幸氏に案内していただいた。



去年の今頃は大人の背丈ほどの雑草に覆われていたという。手作業で刈り取り、雑草をここまでにしてきた。まさに汗水たらしての作業の賜物、今後は前方にひろがる一帯も畑にしていこうと予定とのことだ。



どんな食べ物でも、無から人が作っているもの
食の基本をここから伝えていきたい

集合場所の駐車場に着くと、パジルの香りがふわっと漂ってきた。休憩所でスタッフの皆さんが揃い取ったパジルの選別をしているところだった。摘み取り作業は、暑い日差しを避け、早朝5時半から行っているという。

多賀城ファームは、史跡多賀城政庁跡のすぐ隣にある。え？こんなところか？と驚いていると、「多賀城市から自然景観の保全業務の委託を受け、被災者や障がい者の雇用を創出し、市民や観光客が訪れています」と島田さんが教えてくれた。

多賀城の市街地を見下ろすただらかな斜面に、1haのハーブ畑がひろがっていた。パジル、ローズマリー、タイム、オレガノ、カモミール。さまざまな種類のハーブが緑の葉を風にそよがせ、その間をアゲハやモンシロチョウが飛び交っている。無農薬栽培だからと見られるのどかな風景だ。「ロクファームの商品の原材料」は、こういうところで作られているから安全だということをお客様に来て見ていただけるファームにするのが理想で

「す」今後さらに規模を上げ、かぼちゃ、とうもろこし、トマトなど多種類の野菜も育てる予定だとう。ハーブであれ、野菜であれ、自然栽培の農作物は一定期間に一言に採れるもの。その時期に消費しきれなかつた分をどうするか、効率のよい農業経営を行うための大きな課題である。加工品としての最大限有効に活用してこそその農産物性化。それを実現するのが、続いて案内していただいた多賀城ファクトリーである。



ロクファーム自備の乾燥機。「38℃遠赤外線を使用し高湿度で、栄養素を殆ど失うことなく乾燥させます」と、島田社長が解説してくれた。仙台の企業の製品だそうです。

1棟。ジェラート製造機、乾燥機などそれぞれ別の部屋に設置されている。機械も思いのほかコンパクトで、工場、というイメージとはほど遠い、寛大な空間の取り方だ。「作業の指導に当たる方が見回るスペースを確保したり、車椅子の方が動きやすいように配慮しています」と島田さん。「ゆつたり、いいものを手回ひまかせて作っていく。ここはそんな場所になりたいんです」。

「今ここで私たちがやっていることを農業だけでなく、次は雄勝のような漁業の盛んな地域にもその土地・風土に合うように業態を変えて発展させていきたい。島田さんが見つめるその先には、無限の可能性を秘めた未来がたしかに広がっている。



イタリア製のジェラート製造機。ジャムやコンポート、カスタードも作れる。少量(5g)から製造可能なので、自社製品だけでなく、野菜や果物を持ち込んでオリジナルのジェラートやジャムを作りたいという農家さんにも対応しているとのこと

ジェラート、ハーブオイル、蜜枣のシュークリーム、ベスカートレソースなど、ロクファームブランド商品の数々。藤崎で開催中の「F・NALE みんなのアート展」で、ぜひ実物を賞味してほしい



ROKU FARM ATALATA Information

ロクファーム発 こだわりの旨いもの
藤崎×りらく 大人の文化祭
「F・NALE みんなのアート展 -エフナーレ-」に登場

10月2日(火)まで 藤崎本館地下1階食品売場にて

伊勢谷友介氏(俳優・映画監督)が代役を務める(株)リバープロジェクトがデザインを担当した商品パッケージもお目見え。今までになかった味1と、あちこちで評判を呼んだ商品の数々。素材にこだわったオリジナルの味をこの機会にぜひご賞味ください。

■カンパニー (1箱).....1,100円(税込) ■パザルドレンジング(1箱).....680円(税込)
■野菜ジュレ(1箱).....380円(税込)

震災後の雇用創出人数

3年間で200名の雇用創出を目標！

- 多賀城ファーム
- 福祉雇用14名
- 一般就労5名
- ROKU FARM名取
- 福祉雇用9名
- 一般就労5名
- 多賀城ファクトリー
- 福祉雇用11名(直近予定)
- 一般就労11名
- ルタンリッシュ
- 福祉雇用7名
- 一般就労4名

合計66名の雇用を創出

環境・福祉・防災による復興プロジェクト 農林漁業 6 次産業化モデルファーム



楽しむ

環境にやさしく、こども(1歳半~)が楽しめる施設

働く

分け隔たりなく働ける環境

防災

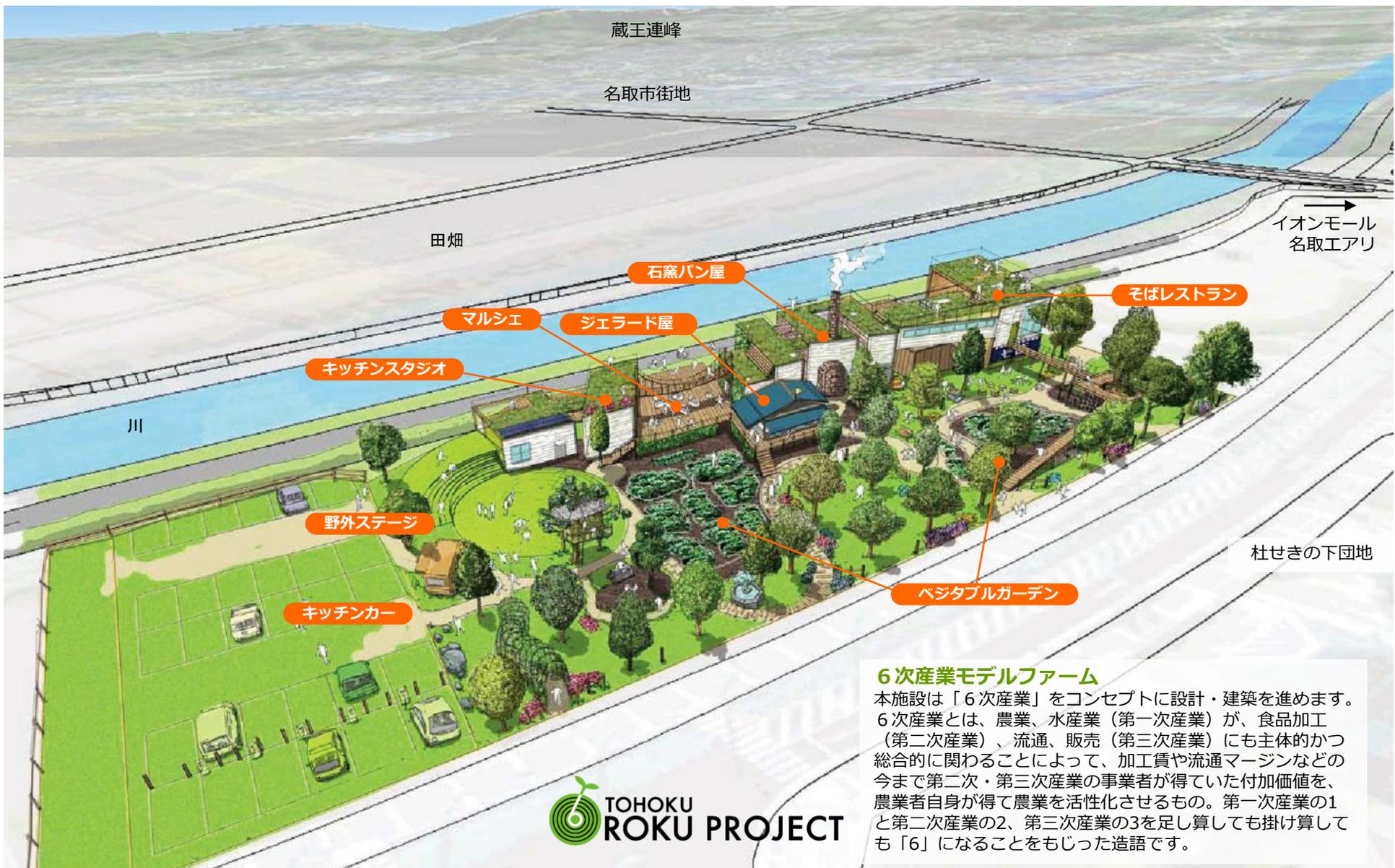
防災に強い商品・サービス

【90年後の君へ】 22世紀へのひとつの価値観

私たちは、この震災の経験を未来に伝えていく必要性や必然性を強く感じています。第一に豊かさを求めすぎたことで、人間の脆さが露呈されたのです。

私たちは、未来の子供たちに対してどのような責任を負わなければならないのでしょうか？

私たちは、自分達の幸せだけでなく「**未来の子どもたちの幸せな顔を創る**」という時期が訪れたのではないのでしょうか？
このプロジェクトに大きな費用をかけて立ち上げるのではなく、
できる限り多くの人たちが、主体的にこのプロジェクトに加わり未来を共に創る、ということを大切にしています。



6次産業モデルファーム

本施設は「6次産業」をコンセプトに設計・建築を進めます。6次産業とは、農業、水産業（第一次産業）が、食品加工（第二次産業）、流通、販売（第三次産業）にも主体的かつ総合的に関わることによって、加工賃や流通マージンなどの今まで第二次・第三次産業の事業者が得ていた付加価値を、農業者自身が得て農業を活性化させるもの。第一次産業の1と第二次産業の2、第三次産業の3を足し算しても掛け算しても「6」になることをもじった造語です。



● 2012年5月現在、本事業の立上げ、運営に際し、ご協力・支援をいただける企業・団体様

- ・リバースプロジェクト： 設計、情報発信、（代表／俳優：伊勢谷友介氏）
- ・舞台ファーム： 農業、生産加工
- ・ファインステージ： 商品開発、情報発信、イベント（ものまね芸人：コロッケさん）
- ・JTB： 集客、広報
- ・三菱電機： 電気機器提供
- ・日本IBM： 買い支え、効率化システム
- ・東北学院大学： 学生ボランティア
- ・スマートメディア： ウェブ構築
- ・セカンドハッピー： 商品開発、情報発信、（幸せ料理研究家：こうちゃん）
- ・東の食の会： 買い支え、商品開発
- ・TOP不動産開発： 不動産
- ・オオホリ建託： 建築工事
- ・アップルファーム： 障害者雇用
- ・赤塚植物園グループ： ガーデン整備

・・・他